

会議録

会議の名称	令和元年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和元年10月9日（水） 午後7時から午後9時
開催場所	田無分庁舎イング第3・4会議室
出席者	委員：廣瀬委員長、田中副委員長、藤井委員、島田委員、濱崎委員、 田邊委員、中野委員 （欠席：葛西委員、中村委員、青木委員） 事務局：堀文化振興課長、栗林文化振興係長、山本文化振興係主任
議題	1 文化芸術振興推進委員会の運営について 2 西東京市第2期文化芸術振興計画について 3 「令和元年度施策・事業評価（平成30年度分）」調査結果について 4 その他
会議資料の名称	【当日机上配布資料】 資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興推進委員会名簿 資料3 第2期文化芸術振興計画 資料4 第2期文化芸術振興計画 概要版 資料5 「令和元年度施策・事業評価（平成30年度分）」調査結果について
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
【以下、事務局にて議事進行】 1 開会 2 文化振興課長あいさつ ・開会にあたって、文化振興課長より挨拶を行った。 3 新任委員の紹介 ・中平旧委員が平成31年3月末をもって西東京市民文化祭実行委員長を退任されたことに伴い、新たに着任された西東京市民文化祭実行委員長である濱崎委員が新任委員になったことを報告。なお、任期は西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱第4に基づき、令和2年7月31日までとなる。 ・各委員より自己紹介を兼ねて挨拶を行った。 【以下、廣瀬委員長にて議事進行】 4 【議題1】文化芸術振興推進委員会の運営について	

- ・事務局より、資料1「西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱」及び資料2「西東京市文化芸術振興推進委員会名簿」を用いて委員会の目的や運営について説明を行った。
- ・事務局より西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領に基づき、傍聴について必要事項の確認を行った。
- ・ここで、傍聴人1名入室。

5 【議題2】西東京市第2期文化芸術振興計画について

- ・事務局より、資料3「第2期文化芸術振興計画」及び資料4「第2期文化芸術振興計画 概要版」を用いて第2期文化芸術振興計画について説明を行った。

(要点)

- 第2期文化芸術振興計画の目指すべき姿としては、第1期計画の実績を踏まえ、「市民一人ひとりが文化芸術を享受・創造・発信できる 文化の香りあふれるまち」とし、様々な効果を結びつけながら推進していくとともに、関係機関との連携を強めることで、4つの効果を地域に広めていく。
- 計画の期間は令和元年度から令和5年度までとし、委員会で議論した内容を反映し、平成31年3月に第2期文化芸術振興計画を策定した。
- 文化芸術振興計画の改定にあたり、市民の文化芸術への関心や文化的な体験、活動の実態等を把握することを目的に、文化芸術に関するアンケート調査を実施した。
- 文化芸術振興施策に向けた施策の展開として、5つの基本方針を掲げている。
- 計画の推進にあたっては、各主体がそれぞれ主体的に文化芸術活動やその推進に取り組むとともに、各主体に求められる役割や連携を強化していくことが必要。
- 資料3及び資料4については、両庁舎の情報公開コーナーにて有償頒布を実施。

○委員：

- ・計画の作成にあたっては、平成30年度第6回西東京市文化芸術振興推進委員会から何か変更された点はあるのか。

○事務局：

- ・平成30年度第6回西東京市文化芸術振興推進委員会にて、委員の皆様からいただいた意見を反映しているため、反映した箇所以外に変更した点はない。

6 【議題3】「令和元年度施策・事業評価（平成30年度分）」調査結果について

- ・事務局より、資料5「令和元年度施策・事業評価(平成30年度分)」調査結果について」を用いて説明を行った。

(要点)

- 平成30年度までは第1期文化芸術基本計画の施策に基づいて各所管課が実績評価等を実施。
- 第2期文化芸術基本計画についても、新しい施策に基づいた調査表の作成を行う。作成が出来次第、委員の皆様へ提示して、引き続き議論をお願いしたい。

○委員：

- ・この調査表における自己評価は誰が実施しているのか。また、自己評価にC評価があった箇所については、今後どう考えていくのか。

○事務局：

- ・自己評価については、施策の内容に基づき、該当する各所管課が実施している。
 - ・自己評価がC評価となっている箇所については、所管課の評価過程に基づいて評価したと認識しているが、評価理由や今後の展開を踏まえ、令和元年度以降に実際に取り組むことができるのかどうか、委員の皆様より意見をいただきたいと考えている。
- 委員：
- ・調査表の図書館の該当項目中、今後の展開において「継続実施」としているのみで具体的な記載がされていないが、何か意図はあるのか。
- 事務局：
- ・図書館の意図については確認できていないが、委員の意見を踏まえ、図書館には具体的な記載をお願いしたいと考える。
- 委員：
- ・調査表 1 ページ【1-1-2】管財課の該当項目中、実績評価の理由について、電子モニターによる掲示依頼がなかったとあるが、どのような広報を行っていたのか。
- 事務局：
- ・関係各課による広報活動の多くが紙媒体での掲示依頼であり、電子モニターを通じた積極的な掲示依頼を検討していなかった。今後は、関係各課が、より効果的になるような方法を踏まえながら、電子モニターによる掲示依頼を活用していきたい。
- 委員：
- ・管財課は具体的に何を所管している部署なのか。
- 事務局：
- ・両庁舎及びその附帯設備の管理や庁用車の管理等を行っている。
- 委員：
- ・調査表 1 ページ【1-1-2】管財課の該当項目中、主な実績について「西東京市文化活動に関する活動者募集」と記載されているが、管財課職員は具体的にどのような募集をしているのか。
- 事務局：
- ・管財課が活動者を直接募集することはない。庁内各課や関係機関からの依頼を通じて、管財課が活動者募集等の掲示を実施する。管財課としては、そうした依頼を通じて活動者募集等の情報をPRしたと考えている。わかりやすい表現となるように管財課に修正を依頼する。
- 委員：
- ・調査表 1 ページ【1-1-3】情報推進課の項目中、主な実績としてスマートフォン用まち歩き・防災アプリの普及活動を行ったと記載があるが、ダウンロード数が平成30年3月末に比べ平成31年3月末に増加したのは非常に嬉しく思う。ただ、これは市民の人口の何分の1というところを踏まえると、まだまだ足りないと思うところもあり、今後の展開には、より多くのダウンロード数ができるような方法も含め、検討していただきたい。
- 委員：
- ・調査表 1 ページ【1-1-3】文化振興課の該当項目中、主な実績として図書館の情報はホームページや図書館だよりで情報発信を行ったと記載してあるが、調査表 2 ページ【1-1-3】図書館の項目にも同様な記載がある。図書館について文化振興課が記載して

いるのは、何か違いはあるのか。

○事務局：

- ・いくつかの情報発信を文化振興課でも実施しており、図書館においても情報収集というのを適宜行っている。図書館においては、収集した情報を図書館管理システムにて公開している。文化振興課としては、この機能が広報機能として役立っていると考え、ここで挙げさせていただいた。

○委員：

- ・そうであれば、図書館と共同してといったような文言を入れておいた方がいいのではないか。

○事務局：

- ・そのように文言修正を行う。

○委員：

- ・図書館と公民館において、事業を共同で実施することはあるのか。あるいは相互に連携を図っているのか。

○事務局：

- ・基本的には図書館と公民館の事業は別々で実施しているが、内容によっては相互連携をしながら実施している事業もある。相互連携の方法について、何か提案があれば意見をいただきたい。

○委員：

- ・相互の利用者に対し、それぞれで実施している事業をアプローチするような方法があれば良いのではないか。

○委員：

- ・調査表 2 ページ【1-1-3】議会事務局の該当項目中、自己評価がB評価となっているが、主な実績や評価理由を見る限りA評価にしても良いのではないか。また、議場コンサートについては、どのような広報を実施しているのか。

○事務局：

- ・評価の理由に目標の全てを達成できたとはいえないと記載があるため、それがB評価としている要因ではないかと考える。ただし、目標の内容が不明であるため、議会事務局には、こうした内容を明確にするように修正を依頼する。また、広報については、市報やホームページ等を通じて事前の広報を行っているほか、議会インターネット中継を通じて一般の方でも視聴できるようにしている。

○委員：

- ・西東京市ではYou Tubeを活用した取り組みはあるのか。

○事務局：

- ・西東京市ではツイッターやフェイスブックを通じた広報のほか、You Tubeのアカウントを持っている。数は多くないが、いくつかの動画についてはホームページからアクセスし、視聴できるようになっている。

○委員：

- ・西東京市民文化祭といった文化活動を発信していくにあたり、アクセスが多いYou Tubも有効的なメディア媒体だと思ふ。そういったところの活用については、今後、積極的に行っていく必要があるのではないか。

○委員：

- ・メディアに関連する関係項目の自己評価についてはA評価が多いと思う。引き続き、

継続実施していただきたい。

○委員：

- ・調査表 2 ページ【1-1-3】協働コミュニティ課の該当項目中、市民協働推進センターゆめこらぼの運営方法について、具体的に教えていただきたい。

○事務局：

- ・市民協働推進センターは西東京市が設置した施設であり、その運営については社会福祉協議会に委託をして実施している。ゆめこらぼは市との委託契約に基づき、社会福祉協議会が持っているノウハウを活かしながら実施している。

○委員：

- ・調査表 2 ページ【1-2-1】子育て支援課の該当項目中、主な実績で具体的な調査結果が盛り込まれていてわかりやすい反面、文化振興課所管の成人や高齢者、外国籍市民及び障害者のニーズ把握については具体的に記載されていないため、具体的に記載したほうが良いのではないか。

○事務局：

- ・子育て支援課に関しては、子育て・子育てワイワイプランの改訂にあたり、子育て支援ニーズ調査を行い、その結果をホームページ上で公開をしたり、情報公開コーナーにてアンケート結果を置くなどしているため、具体的な内容の記載ができたと考える。文化振興課所管箇所についても、それ以外のニーズ把握を取りまとめたうえで具体的な内容を記載できるようにしていきたい。

○委員：

- ・調査表 2 ページ【1-2-2】保谷こもれびホール該当項目中、主な事業実績が平成29年度に比べ、平成30年減少した要因は何かあるのか。

○事務局：

- ・保谷こもれびホールについては、平成29年度を区切りとして、平成30年度より新たな枠組みで運営を実施している。保谷こもれびホールは竣工後、20周年を迎え、施設の維持管理といった点を重点的に考えており、そこに費用を充てているため、全体の事業数が減少してしまった。全体の事業数としては減っているものの、各事業について目を向けると参加者数は増えているところもある。

【以下、田中副委員長にて議事進行】

○委員：

- ・調査表 3 ページ【1-2-3】文化振興課の該当項目中、西東京市民会館のあり方について、どのくらいまで検討が進められているのか。

○事務局：

- ・現在、アスベスト調査や解体に向けての調査を進めている段階である。解体は来年度以降の実施を予定している、解体後は、官民連携を含めた新たな活用方法の検討を関係機関と実施している状況である。

○委員：

- ・施設の老朽化に伴い、文化活動をしている団体活動の場所を確保することが難しくなっている。今後、こうした活動場所の確保について、どう考えているのか。

○事務局：

- ・施設の維持管理や分析については、公共施設等マネジメント実行計画に基づいて実施している。既存する施設の有効活用を含め、庁内では検討しており、利用方法や利用時間等の検討を組織横断的に始めているところである
- 委員：
 - ・調査表 3 ページ【1-2-3】管財課の該当項目中、主な実績で市民の文化芸術活動における活動場所の提供を行ったとあるが、具体的にはどのような提供を行ったのか。
- 事務局：
 - ・保谷庁舎の食堂では、市民文化祭実行委員会の運営委員会の会場といった方法で利用している。田無庁舎の 2 階のロビー、保谷庁舎 1 階の展示スペースでは、関係機関の依頼に基づき、様々なイベントや文化芸術作品の展示等を実施している。
- 委員：
 - ・調査表 3 ページ【1-2-3】児童青少年課の該当項目中、主な実績で音楽スタジオやダンスができる部屋が設けている施設もありと記載されているが、どのくらい有効に使われているのか。
- 事務局：
 - ・学校のない時は、かなり混み合っており、中高生年代のみだが、午後 9 時までの夜間も使えるようになっている。
- 委員：
 - ・夜間利用といった時間帯で開館しているところはあるのか。
- 事務局：
 - ・いくつかの児童館では、中高生向けに夜間開放している。
- 委員：
 - ・現在、大人や高齢者が活動する場所が少なくっており、活動場所の確保が難しくなっている。そのような中で、各施設においては時間帯の延長や音を出して使用する場所の提供を検討してほしい。
- 委員：
 - ・調査表 4 ページ【1-2-3】子ども家庭支援センターの該当項目中、主な実績で子どもの居場所作りについての記載があるが、貧困といった問題を背景に、今後、この子ども居場所作りについて課題があると考えている。そこについて何か検討していることはあるのか。
- 事務局：
 - ・放課後子ども教室や子ども食堂、放課後カフェ等を通じて子どもの居場所作りに関する取組みを進めている。また、子ども条例が西東京市で施行されたことに伴い、今後は、より一層、子どもの居場所作りということに関係機関が取り組んでいくこととなる。
- 委員：
 - ・調査表 4 ページ【1-2-3】文化振興課の該当項目中、主な実績で民間施設について調査を実施したとあるが、具体的にはどのような調査を実施しているのか。また、評価の理由にホームページへ情報更新ができていないと記載があるが、それはなぜか。
- 事務局：
 - ・市民会館の閉館などに伴って、会議室や一定の広さがあるスペースを把握し、数多く

活動できるような活動場所の把握を実施した。ただし、現在までに取りまとめて公表するまでには至っておらず、公表を含めた情報の更新ができていない。今後は、公表出来るような形で情報を取りまとめ、条件が整い次第、情報を更新していきたいと考えている。

○委員：

- ・調査表 4 ページ【1-3-1】保谷こもれびホール事業の該当項目中、音楽アウトリーチ事業の対象を教えてください。また、子ども向けの各事業に対して、個々の参加者数が少ないのではないかと。

○事務局：

- ・学校ごとに1学年（小学4～6年生）が対象となっている。参加者数については、学校によって小規模なものや大規模なものがあり、ばらつきがある。
- ・子ども向けの事業については、事業計画を策定するうえで、実施内容や対象者については意識しながら計画をしている。子どもたちには様々な体験してもらったり、鑑賞したりする機会を持ち続けていきたいと考えている。また、掲載のスペース上、全てを記載できなかったが、各詳細については年次報告にて確認していただきたい。

○委員：

- ・調査表 4 ページ【1-3-1】文化振興課の該当項目中、主な実績や評価の理由、今後の展開が同じような理由となっているのは何か理由があるのか。

○事務局：

- ・第2期基本計画策定に向けて、子ども向けの文化事業の状況を把握するよう実施していたが、想定しているよりも把握することができなかった。また、あわせて団体と話をする機会を設ける予定にしていたができていない。今後はそういうことも含め、引き続き状況把握を進めていきたいと考えている。

○委員：

- ・調査表 4 ページ【1-3-1】文化振興課の該当項目中、「日本の文化体験フェス」 in 市民文化祭の実施に関して外国籍市民に対しては、どのように周知しているのか。

○事務局：

- ・市報やホームページ、フェイスブックやツイッター、関係機関等にチラシ配布をするなど周知を実施している。しかしながら、申込者数が伸びていない。他の方法があれば委員の皆様より意見をいただきたい。

○委員：

- ・日本の文化体験だけではなく、今年度の特別企画であるオランダ体験のように海外の文化体験を取り入れたり、海外の文化を発信する機会を提供する方法も良いのではないかと。

○委員：

- ・調査表 4 ページ【1-3-1】児童青少年課の該当項目で、少子化との兼ね合いもあるが、子ども達が活動していく施設にも限りがある。今後は、こうした現状にどう対応していくのか。

○事務局：

- ・市では人口推計と取りまとめており、将来の人口の動向など把握はしている。そのよう

な中で、将来的な必要なこととのバランスを見ながら、施設整備を含め全庁的に計画的に取り組んでいる。

○委員：

- ・調査表 5 ページ【1-3-2】教育指導課の該当項目中、主な実績で中学校は合唱コンクール等実施となっているが、中学校では他に何を実施しているのか。

○事務局：

- ・合唱コンクール等となっているため、内容を明確にしてお示ししたい。

7 その他

以上

《閉会》